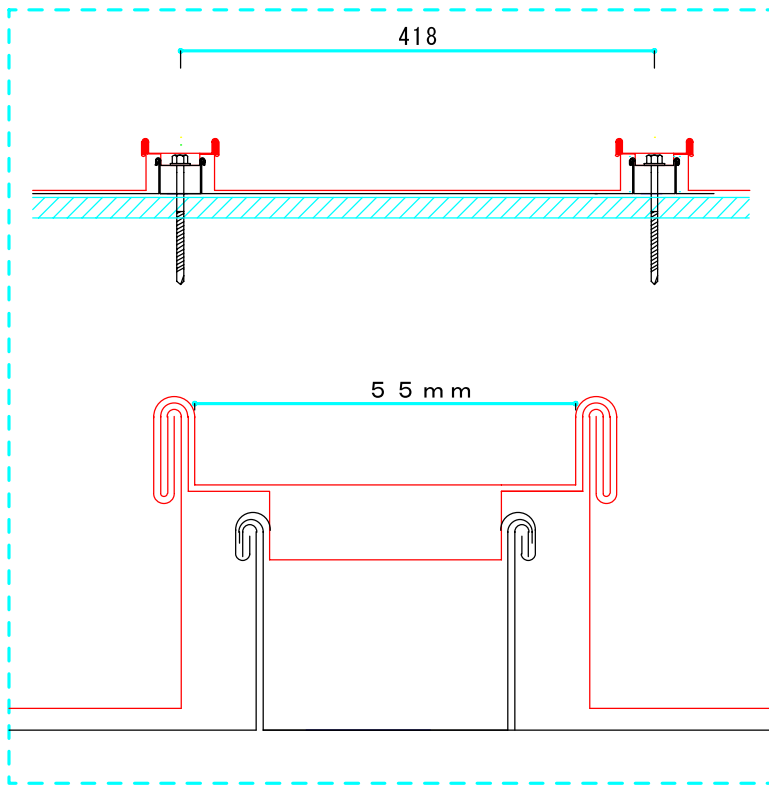
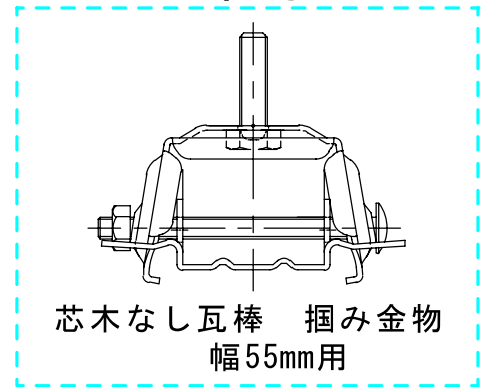


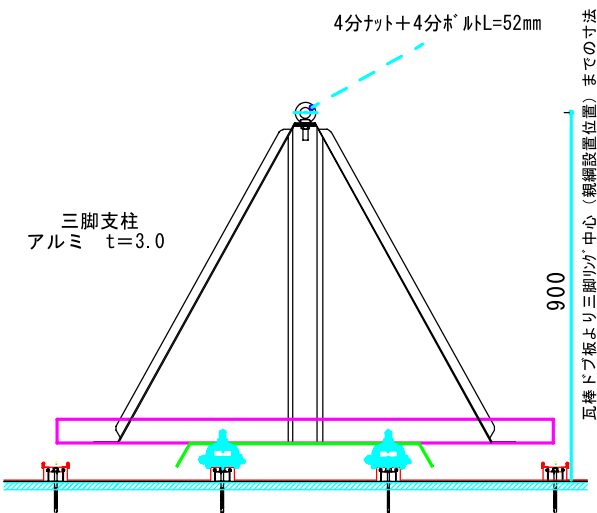
N0、 1 3 アルミ瓦棒 B



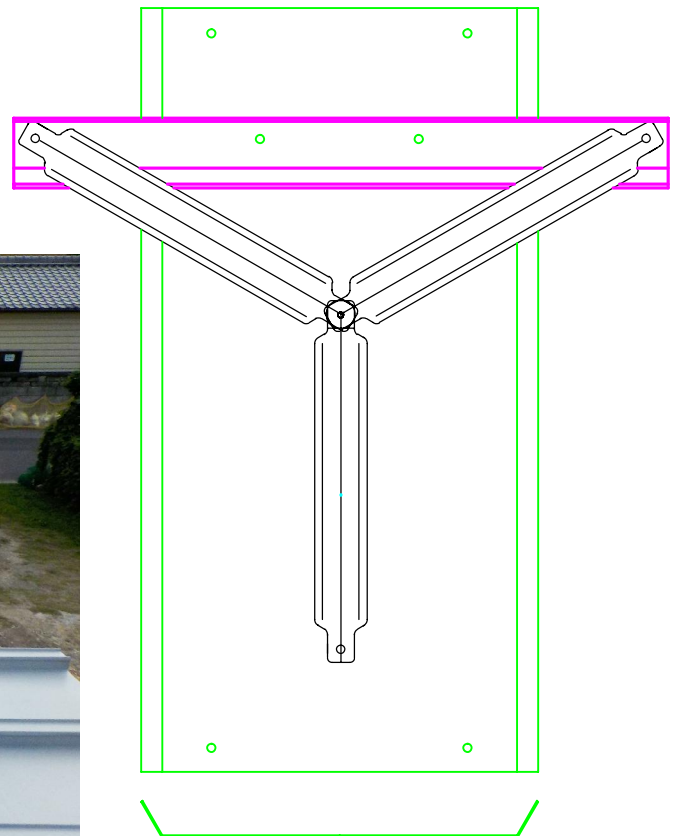
三晃式瓦棒改修用
芯木なし



掴み金物ボルトに固定



アルミ t=6.0



アルミ t=3.0



三脚支柱瓦棒用 取付手順 ①

(ハゼ式 瓦棒用)



三脚支柱瓦棒用の設置の際は、こちらのQRコードよりやり方をご確認ください。



① 取付位置墨出し

括み金物の位置は**芯、芯のスパンが1,170mm**で2列となるように、括み金物取付位置、4ヶ所をマーキング



② 括み金物取付

括み金物のナットが内側になるよう13mmビットにて取付。（ナットが向かい合うように）

（強く締めると屋根材が破損するので注意、締め付けトルクは**21N・m**）

水下側2ヶは本締めしてもよいが、水上側2ヶは仮締めとする。



③ ベース（座板）仮置き

水下側にベースの腕がくるように、括み金物のボルト4箇所をベース（座板）の4隅の穴に入れる。穴が合わない場合は、水上側の括み金物を移動し穴を合わせる。

④ ベース（座板）仮締め

括み金物とベース（座板）をナットで4ヶ所、仮に固定する。（手で軽く締める程度で固定）



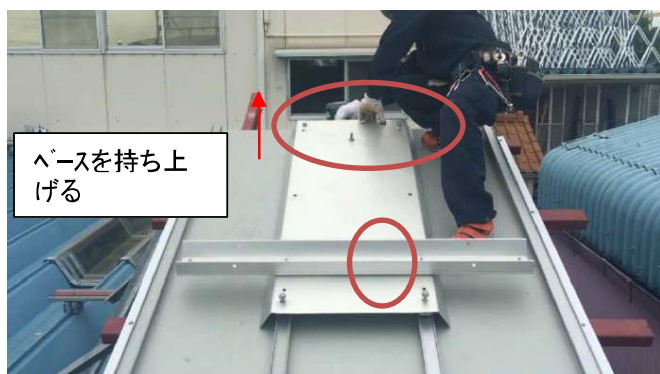
別紙② 安全使用基準に遵守

三脚支柱 取付手順 ②

(ハゼ式 瓦棒用)



三脚支柱瓦棒用の
撤去の際は、
こちらのQRコード
よりやり方をご
確認ください。



⑤ 水上側掴み金物本締め

ベース(座板)の水上側を持ち上げ、隙間にインパクト(13mmビット)を入れて水上側の掴み金物を本締めする。

(強く締めると屋根材が破損するので注意、締め付けトルクは21N・mとする)



⑥ ベース(座板)本締め

ベース(座板)と掴み金物を本締め、インパクト(17mmビット)使用 (締め付けトルクは55N・mとする)



⑦ 三脚支柱組立て

支柱の脚の穴を、ベース中央のボルトと腕の両端のボルトに貫通し組立てる。



⑧ 三脚支柱本締め

三脚支柱の脚のナット3ヶ所とIボルトのナットをインパクトにて固定(17mm、21mmビット使用) (締め付けトルクは55N・mとする)

別紙② 安全使用基準に
遵守

取付及び使用する前には必ず使用基準をお読み下さい

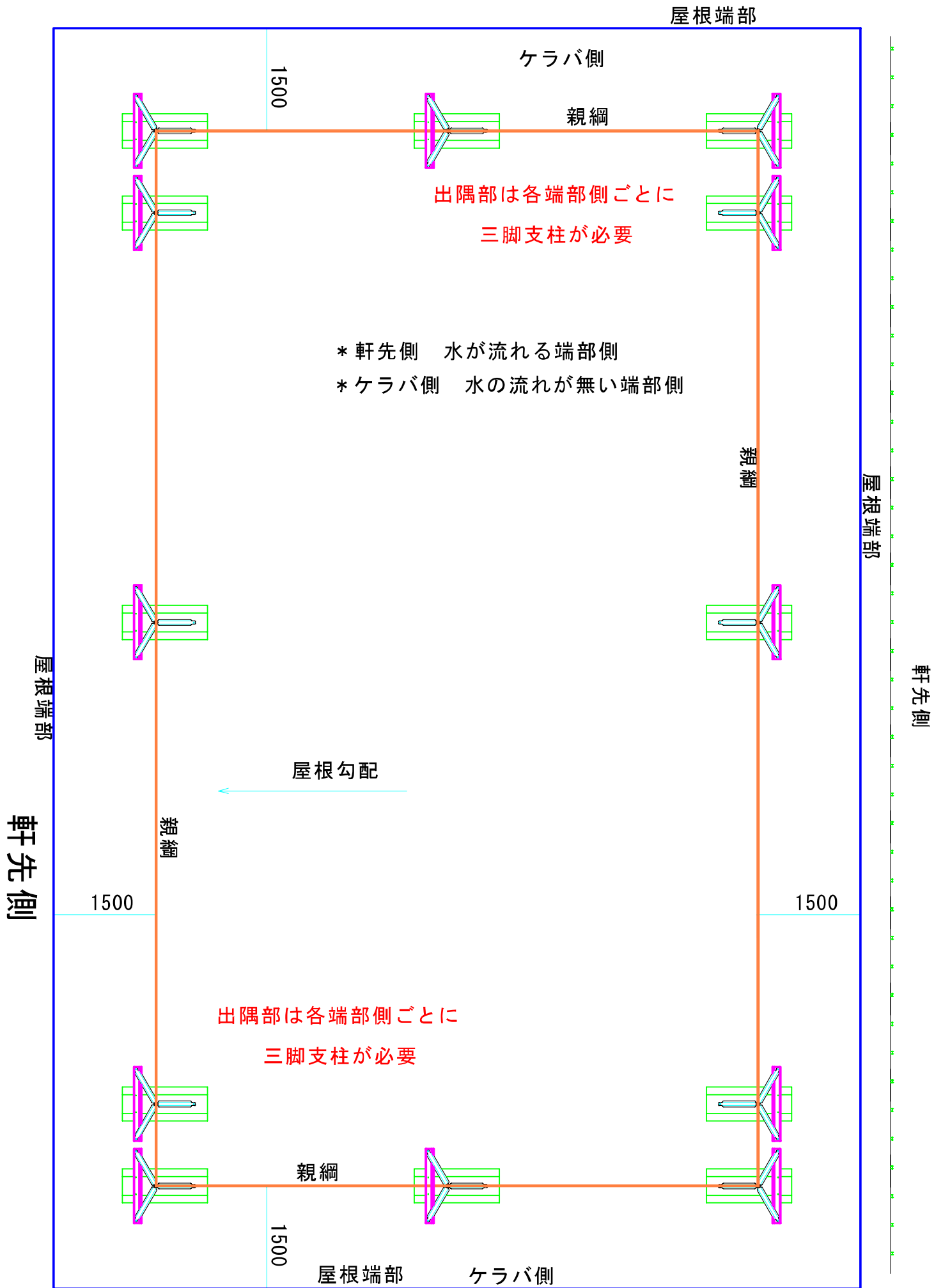
- 1 衝撃するおそれのある床面等より **4m以上の高さ**が折板の上部で確保されていること
フルハースタイプ[®]の安全帯使用時には、**4.5m以上の高さ**を確保すること（平成28年4月追記）
- 2 折板の形状は角ハゼ[®] 500（300）、丸ハゼ[®] 500（300）、BL500、ルーフィックとし、それぞれ指定した掴み金物を使用すること（掴み金物の取付困難な折板及びへこみ等で変形した折板には使用禁止）
- 3 掴み金物と折板の隙間は専用の保護ゴムシート[®] t=1.2mmにて養生すること（1型のみ）
- 4 三脚支柱の間隔（1スパン）は **9.5m以内とし、1スパン1人**までで使用する
- 5 三脚支柱の中心が折板端部（軒先、ケバ[®]、開口部）より離れ **1.5m以上**離して設置すること
- 6 必ず支柱用親綱はポリエステル製φ16（仮設工業会認定品）を使用し（ワイヤーロープ等は使用禁止）緊張器にて十分緊張させること
- 7 折板施工時、三脚支柱を設置する場合は、掴み金物を取付ける箇所より流れ方向上下 **4m以上連続ハゼ[®]締め完了後**、掴み金物を取付けること
- 8 墜落等で衝撃を受けた支柱及び変形をした掴み金物は使用しないこと
- 9 設置及び撤去作業時は**保護手袋**を着用すること
- 10 丸ハゼ[®]、BL500の掴み金物の取付方向は別紙③、④にて確認が必要（下記QRコード内の別紙参照）
- 11 安全帯（ランヤード[®]長さL=1.7m以下）、支柱用親綱は安全性の確認されたものを使用すること
- 12 折板屋根の勾配は10%以下とします
- 13 三脚支柱の上部リングに直接安全帯を使用しないこと
- 14 折板**出隅部の三脚支柱の設置は下記QRコード内別紙⑤**の基準による
（出隅部は三脚支柱が連続して2脚必要）
- 15 三脚支柱、掴み金物等部材は放り投げたり衝撃を与えないこと
- 16 掴み金物を折板に固定するトルクは **5.5kN・cm** とすること
- 17 親綱、安全帯等が落下衝撃により折板の端部等にて損傷されるおそれがある場合は事前に養生等を行うこと、又タイトフレームのスパ[®]ンや折板の板厚等により落下衝撃による折板の損傷具合は異なる
- 18 下記QRコード内の三脚支柱取扱説明の各資料を確認すること
- 19 三脚支柱使用時はフルハースタイプ[®]の安全帯の使用を推奨とする。



屋根勾配

瓦棒屋根

別紙⑤



掴み金物は55N・mにてナットを
締めて下さい



トルクレンチにて締付けトルクを管理し
て下さい（L=25cmのシノで約22kgで
しめる力）

